

平成29年度

実績報告書

社会福祉法人 村山苑

村山苑の基本理念

社会福祉法人村山苑の基本理念は、村山苑が福祉サービスを必要とするすべての人々に、その人の人格の尊厳を守り、その人の環境、年齢および心身の状況に応じて本来的な生活を築き、生命の輝きを見出すことの出来る福祉サービスを提供することである。

この理念の根底にあるものは人間愛であり、それに基づく社会的公正と人権擁護の実現を目指し、必要とする者に必要な福祉サービスを提供し、共に生きてゆこうとする志である。

目 次

I	平成29年度事業報告	1
	事業所一覧	7
II	施設利用状況・職員配置状況一覧	8
III	理事会及び評議員会	10
IV	法人事務局関連事項	12
V	法人・施設共通事項	15
	1 リスクマネジメントの取組みと苦情対応	
	2 福祉サービス第三者評価の受審状況	
	3 職員研修	
	4 地域への取組み	
	5 情報公開（HP・広報誌）	
	6 施設設備整備	

I 平成29年度 事業報告

平成29年度は、改正社会福祉法に基づき法人運営を進めてきた。役員・評議員の選任に始まり、理事会・評議員会の運営についても通知やガイドラインに添って「社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を、确实、効率的かつ適正に行うため、自主的な経営基盤の強化・提供する福祉サービスの質の向上・事業経営の透明性の確保」を図ってきた。その一環として、新たに評議員会で選任された会計監査人による予備調査を行い、内部統制の整備状況や平成30年度期首残高(平成29年度決算額)の確認作業を終了している。また、多種別事業の利点を活かした生活困窮者就労訓練事業及び東京都社会福祉協議会の「はたらくサポートとうきょう」事業や東村山市内社会福祉法人連絡会で始めた「暮らしの相談ステーション」事業など、地域における公益的な取組みは、職員の理解と協力により軌道に乗りつつある。次年度以降においても、村山苑の各種別及び施設の周辺の事情を見極めながら、社会福祉法人の役割として何ができるかを検討し、法人の将来展望を見出していきたい。

1. 法人体制及び各施設共通事業

平成29年度は、法人事務局体制を整備したことにより事務に関する業務チェック体制が構築でき、また、企画機能の追加により施設への情報発信が出しやすいよう、環境を整えることが出来た。

職員確保、育成、定着に関しては、人材確保委員会を11月までの間、定期的を開催して、求人活動のあり方や採用方法の検討し、新任職員については、育成・定着支援の検討を行った。平成30年度は、特に保育士確保が困難な状況にある為、保育士の採用について具体的な対策を検討する必要に迫られている。法人の方針としている障害者雇用については、本部に障害者職業生活相談員を置き、支援する体制を整えており、現在、特別支援学校の卒業生等を常用雇用労働で4名、短時間労働で3名を採用し、6名が継続就労している。今後更に、就労移行支援事業を実施している福祉事業センターとも連携し充実させたい。

介護保険事業においては、前年度から居宅介護サービス事業(通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業)の利用率が伸びず実績が上がらず、また、収入に対する人件費率が高く、収支差がマイナスとなり、一年を通じて大きな課題となった。通所事業での利用率をいかにして上げるか、収益をあげる為には何が必要かを、介護保険事業グループ内だけでなく、理事長、本部職員も職員会議に参加して検討した。その結果、職員の意識はある程度向上したと思えるが、目立った収益の改善には繋がらず、年度の終盤になって、いくらか実績が上がっ

てきた。この事業は、次年度以降に向けて思い切った取り組みを行い、事業の改善に努力したい。

施設設備整備では、ひよし保育園の移転改築事業とハトホーム南館建替及び北館改修事業を関係行政機関等と事業進捗の確認をとり、理事会に諮りながら進めてきた。ひよし保育園は、国分寺市との民設民営化基本協定（民営化後、3年以内の改築）に基づき事業を進めてきたが、平成29年度内に、ようやく現園舎から徒歩5分程度の場所に賃貸借物件による移転改築を決定することができ、平成30年8月1日から、産休明け零歳児保育を含む80名定員で開設する予定である。移転改築後は定員も65名から80名に増え、待機児童対策にも貢献することができる。また、ハトホーム南館の建替は、平成31年度に清瀬市内に整備される東京都社会福祉施設建替促進事業の代替施設の利用が決定したことにより、顧問設計事務所の協力を得て準備を始めた。改築後の特養2施設の経営を目指し、南館・診療棟・リハビリ棟の3棟を取り壊して建替、北館も大規模修繕して施設機能を持たせることとした。次年度は、補助協議等の手続や代替施設への引っ越し準備を開始しなければならない。

2. 介護保険事業

2018年度介護報酬改定率は全体として0.54%とプラス改定になった。しかし、訪問介護の生活援助が若干引き下げられ、身体介護の基本報酬は引き上げられた。一方、通所介護はサービス提供時間区分が1時間単位に見直された。

村山苑の各介護保険事業所は介護報酬改定に対応すべく、体制を整えていかなければならない。とりわけ在宅系サービスは経営安定化に向け、収入増を図らなければならない。特養本体は南館の建替と北館の大規模改修を控えている事も有り、収入増はもちろんだが、経費削減にも取り組まなければならない。

平成29年度ハトホーム本体は稼働率目標98%には達しなかったものの、平成28年度を上回る96.8%であり、平成26年度から確実に右肩上がりに稼働率が伸びている。欠員を1週間以内に補充することも目標としてきたことが、稼働率アップにつながってきたと考えられる。特養の入居者は原則要介護3以上になり、ハトホーム入居者の平均要介護度も重度化傾向を示している。重度化への対応と業務の効率化を課題に、介護検討会で業務の再点検を行ってきたが、取り組み半ばであり平成30年度も引き続き取り組みたい。同じく平成29年度から次年度へと引き続き取り組む課題は、口腔ケアの取り組みを通じての誤嚥性肺炎予防である。

ハトホームショートステイ事業は利用率80.2%に終わり、厳しい状況ではあるが平成28

年度より 10%以上利用率が上昇している。特に緊急ショートと長期利用者は断らないという方針で取り組んできたが、このことが一定の利用率に繋がったと考えられる。

ハトホーム在宅サービスセンターの通所介護は、1日当たりの利用目標を前年度より引き下げ、1日17名の利用を目標に取り組んできた。しかし、17名と言う目標に到達することが出来ず、前年度並みの15.3人という結果であった。ハトホーム在宅サービスセンターの課題は欠席率の多さである。ショートステイの利用など明確な欠席理由の他、なんとなく休んだのではないかと思われる欠席も多いように思われる。このなんとなくの欠席を分析し、欠席率減少に向け、サービス内容の見直しなどに取り組まなければならない。

平成29年度は、ほんちょうケアセンターでの通所介護事業の収入が伸び悩み、介護保険収入は53,434,954円となり昨年度より、0.9%の減収となった。居宅介護支援事業は6,497,139円で昨年度より151.1%の増収。訪問介護は10,482,156円で昨年度より107.0%の増収であった。居宅介護支援事業は、前半は集中減算があったが、利用者数が後半伸びてきたため、赤字幅は昨年度より大幅に少なくなった。2名の常勤ケアマネで対応しているが、担当できる利用者数の上限に近くなってきている。訪問介護事業は、1月頃から急激に予防・総合事業の件数が増えた。ケアセンターの収入の多くを占めている通所介護事業では、特養入所が原則要介護3以上になり、要介護度の高い方が比較的特養に入所しやすくなったことで、在宅でサービスを使いながら過ごすケースが減ってきている。そのため、通所利用者の介護度が全体に低下してきており、要介護度が1.5前後になっているため、収入が伸び悩む原因になっている。

利用者の生活と雇用を守り事業を継続することは事業者としての責務であり、引き続き各事業の稼働率向上を目指すとともに、経費節減に努めていかななければならない。次期介護保険制度改正、介護報酬改定の内容を熟知しつつ、現状のサービス提供内容の見直しを図り、近隣事業所や関連機関との連携体制を整え、業務の効率化を図っていきたい。

3. 生活保護施設事業

生活保護施設事業としては、村山荘、さつき荘ともに循環型セーフティネット施設という救護施設の機能・役割を果たしていくため、利用者の自立支援、地域移行、他法施設移管に積極的に取り組んだ。全国救護施設協議会が示した「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、居宅生活訓練を村山荘では施設機能強化推進費の特別事業として、さつき荘は人員配置等で要件を満たさず独自事業として実施。両施設で5部屋の賃貸アパートを活用し、施設内の訓練室利用も含めて延べ村山荘55名・さつき荘20名、合計では村山

荘1, 108日間・さつき荘833日間の訓練を実施した。村山荘1名・さつき荘1名が地域生活に移行している。村山荘における通所・訪問事業については、諸事情により事業申請には至らなかったが、独自事業として継続して実施した。一時入所事業も両施設で延べ村山荘10名・さつき荘11名、合計村山荘147日間・さつき荘125日間の受け入れを行った。

生活困窮者自立支援及び社会福祉法人の地域貢献を進めるために、2救護施設が中心となり村山苑中間的就労推進委員会で検討、東社協の「はたらくサポートとうきょう」に参加するとともに、東京都の就労準備訓練（中間的就労）の認定を受けて取り組んだ。

4. 保育事業

平成29年6月、政府は「子育て安心プラン」を公表し、「待機児童問題に終止符を打つ」としたうえで、遅くとも3年間で全国の待機児童を解消するとともに、平成34年度末には女性就業率80%に対応する32万人分の保育の受け皿整備を進めていくこととした。そして12月8日には閣議決定により「新しい経済政策パッケージ」が公表され、2020年に向けて「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かっていくとされた。このうち「人づくり革命」では「幼児教育の無償化」や「待機児童の解消」が最重点課題として挙げられ、「幼児教育の無償化」では「3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園・保育園・認定こども園の費用を無償化する」こと、また「待機児童の解消」については「子育て安心プラン」を前倒しし、平成32年度までに32万人分の受け皿整備を着実に進めていくこと等が示された。

また待機児童解消の担い手となる保育士等の人材確保策については、平成29年度より「副主任保育士・専門リーダー・職務分野別リーダー等を設けることにより、キャリアパスの仕組みを構築し、保育士等の処遇改善に取り組む保育園等に対して、キャリアアップによる処遇改善に要する費用を公定価格に上乘せを行う(公定価格上の加算の創設)」ことを目的とした「技能・経験に応じた保育士等の処遇改善制度」が立ち上げとなった他、東京都においても保育士等の処遇改善を図るため、「保育士等キャリアアップ補助金制度」が大幅に拡充された。

このような保育士等の処遇改善に係る国・東京都の大きな制度改革を踏まえ、村山苑保育4園では給与規程の改正・職務分掌の策定・発令等の手続きを経て、7月1日より「技能・経験に応じた保育士等の処遇改善」を実施するとともに、「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」に基づく研修等に積極的に取り組んだ。

一方、この間、国の公定価格や都の保育サービスに係る補助制度等が見直されたことから、東村山市においても加算補助金制度の再構築が複数年をかけて実施されることとなった。この「再構築」の初年度となる平成 29 年度についてはこれまでの加算補助金水準の 83.2%となり、市内保育 3 園への財源的影響は相当額に上ることとなった。今後も市保育園連絡協議会等を通じて市加算補助制度が保育園の実態並びに「時代のニーズ」に応えうるような制度となるよう取り組みを進めていくこととしたい。

このような保育所を取巻く大きな環境変化の下、村山苑保育 4 園は、事業計画に掲げた「基本方針」並びに「保育所運営方針」に基づき、4 保育園の特性を生かしつつ、保育並びに保護者支援を行うことを目標として平成 29 年度に臨んだ。

- (1) 運営管理については、東村山市の待機児童解消への協力として、前年度に引き続き、つばみ・ほんちょう保育園が定員を上回る園児の受け入れを継続した。
- (2) 今年度の最重要課題として位置づけた保育士の人材確保については、法人本部・保育 4 園と連携を図り、ハローワーク・福祉人材センターが主催する「2018 保育園フェア」や「保育士就職支援研修・就職相談会」でのブース確保や、「就職フェア IN 村山苑」(4 回開催)などの取り組みを通し、保育士の人材確保に努めたが当初予定していた保育士数の確保までには至らなかった。保育人材確保については次年度の最重点課題として継続していくこととしたい。
- (3) 地域における子ども・子育て支援に係る取り組みとして、エリアごとの「子ども・子育てエリアネットワーク会議」に積極的に参加し、地域の子育て世代が必要とするニーズや意向を把握、子育て支援に活用できる情報誌作りに参画したほか、「児童虐待」や養育困難家庭への支援に係る「要保護児童対策地域協議会」にも必要に応じて参加した。
- (4) 平成 28 年度の 4 月より民間移管を受け自主運営を開始した「ひよし保育園」については、保護者会や法人本部・市所管課との連携を図りながら順調に事業展開を図ることができた。また懸案となっていた「園舎の建替」については賃貸借契約(土地・建物)による移転改築が具体化し、平成 30 年 8 月に開設できる見込みとなった。
- (5) 平成 29 年 3 月告示、平成 30 年 4 月適用となった「改定保育所保育指針」については、新指針に係る研修等への積極的な参加や、保育 4 園での情報交換等を通して無事改定作業を終了することができた。今後の実効性のある形での活用を図りたい。
- (6) 東京都福祉サービス第三者評価の受審については、保育種別の全園が前年度に続き本調査を受審し、東京都福祉サービス評価推進機構が定める部分について公表した。

(7) 東村山市内社会福祉法人連絡会による相談事業「暮らしの相談ステーション」を、ほんちょう保育園・ケアセンターとの連携のもとで実施した。

5. 障害福祉サービス事業

障害福祉サービス事業としては、平成 30 年度の報酬改定や法改正の動向を注視すると共に速やかな情報収集などを行い、状況に応じた対応が出来るように心がけた。基本的には、就労継続支援 B 型も就労移行支援も実績に応じた報酬改定へ移行されるとの見方が強かったことから、就労継続支援 B 型では高工賃の還元（3 万円以上）、就労移行支援では就職率を定員の 25%以上の達成を目標としてスタートした。

「働く喜びをすべての人に」の目標の下に、29 年度方針として、①就労継続支援 B 型における作業時間の短縮による柔軟な支援体制の充実 ②就労移行支援における訓練活動の見直しによる効果的な利用者支援体制の確保 ③各種情報の収集、整理、共有と活用及び職員スキルアップの促進 という 3 点を掲げ取組んだ。利用者状況は、障害種別を問わず、知的、身体、精神、発達障害等の利用者を受入れ（知的障害者が増加傾向）、利用者延べ人数 16,561 名、1 日当たり平均利用者数 67.1（継続 B 55.1 名・移行 11.0 名）になった。また、登録者数については、定員の 80 名前後で推移し、年間平均登録者は就労継続 B 型で 68.9 名（定員 65 名）、就労移行で 12.2 名（定員 15 名）となり、就労継続支援 B 型、就労移行支援ともに昨年実績を下回る結果となった。就労継続支援 B 型については、高工賃の還元を目指しての取組を行い、年間売上が 33,455,261 円（昨年 31,676,254 円）、平均工賃支給額 34,953 円（昨年 31,602 円）と前年度実績を上回ることが出来た。就労移行支援では、年間 4 名以上の一般就労者を目標に取組んだが、8 名の一般就労者を輩出すること出来て目標を達成することができた。両事業とも全国平均を上回ると同時に、30 年度の報酬改定に伴う基本報酬単価設定の上でも上位の基本報酬に繋げることができた。

また、一昨年からの課題であった人材確保については、29 年度も厳しい状況が続いた。特に非常勤職員が定着しない状況が続き、配置基準上でも厳しい状況となった。正規職員の補充も出来ない状況が続いたが 11 月に正規職員を 1 名採用することができ、3 月には次年度採用者として正規職員 2 名を確保することができた。しかしながら、人材の確保及び定着は業界全体でも大きな課題となっている現状からも、今後もしっかりと取組んで行かなければならない課題の一つであると痛感した年でもあった。

事業所一覧

所在地：〒189-0024 東村山市富士見町 2-7-5

施設名	施設種別・事業	開設日	定員	連絡先
村山荘	救護施設	昭和36年6月1日	100名	042-391-1262
ハトホーム	特別養護老人ホーム 介護老人福祉施設	昭和46年5月15日	180名 併設型短期入所生活介護 8名	042-393-7574
ハトホーム在宅 サービスセンター	高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業	平成9年10月1日	1日25名	042-398-2555
福祉事業センター	障害福祉サービス事業所	昭和53年4月1日	就労移行 15名 就労継続B型65名	042-395-3636
ふじみ保育園	保育所	昭和55年4月1日	100名	042-394-9936
むらやまえん 生活相談所	第二種事業 生活困難者支援事業	平成25年12月1日		042-313-0301

所在地：〒189-0024 東村山市富士見町 2-8-2

施設名	施設種別・事業	開設日	定員	連絡先
さつき荘	救護施設	昭和57年4月1日	50名	042-396-2244

所在地：〒189-0024 東村山市富士見町 2-2-2

施設名	施設種別・事業	開設日	定員	連絡先
つぼみ保育園	保育所 一時預かり事業	昭和44年5月1日	195名	042-393-6400

所在地：〒189-0024 東村山市本町 3-43-1

施設名	施設種別・事業	開設日	定員	連絡先
ほんちょう保育園	保育所 一時預かり事業 地域子育て支援拠点事業	平成23年4月1日	100名	042-399-2100
ほんちょうケアセンター	高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業 訪問介護事業 居宅介護支援事業 独自ショートステイ	平成23年4月1日	30名 5名	042-399-2102 042-399-2110

所在地：〒185-0032 国分寺市日吉町 2-20-5

施設名	施設種別・事業	開設日	定員	連絡先
ひよし保育園	保育所	平成28年4月1日	65名	042-572-4175

Ⅱ 施設利用状況・職員配置状況一覧

拠点	内容	定員数/ 目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/ 延べ	
ハトホーム	特養	月末人員数	180人	179	180	180	179	179	177	180	180	180	179	178	177	179.0 / 日
		延利用者数		5251	5484	5223	5500	5400	5155	5422	5229	5382	5382	4857	5326	63,611
		入所率	98.0%	97.2%	98.3%	96.7%	98.6%	96.8%	95.5%	97.1%	96.8%	96.5%	96.4%	96.4%	95.4%	96.8%
	ショート	延利用者数		167	239	174	225	250	166	157	143	205	222	184	217	2,349
		平均利用数/日	8人 / 8人	5.6	7.7	5.8	7.3	8.1	5.5	5.1	4.7	6.6	7.2	6.6	7.0	6.4 / 日
	合計稼働率			96.1%	98.2%	95.7%	98.2%	96.9%	94.3%	95.7%	95.2%	95.9%	96.2%	95.8%	95.1%	96.1%
	通所(含予防)	延利用者数		361	410	396	392	399	393	403	407	398	357	369	430	4,715
		平均利用数/日	25人 / 17人	14.4	15.2	15.2	15.1	14.8	15.1	15.5	15.7	15.3	14.8	16.0	15.9	15.3 / 日
	緊急一時	利用者数(延日数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員数	常勤職員		74	74	74	75	75	77	77	77	77	77	77	77	77
非常勤職員			62 (46.5)	62 (47.5)	63 (47.4)	63 (45.4)	63 (48.2)	64 (48.7)	60 (47.2)	60 (48.9)	59 (45.0)	59 (45.0)	59 (43.8)	59 (46.2)		
派遣職員			12	11	12	12	13	12	12	12	11	12	12	12		
ほんちようケアセンター	通所(含予防)	延利用者数		553	530	615	587	606	583	601	562	550	480	515	607	6,789
		平均利用数/日	30人 / 25.0人	23.0	22	23.6	23.5	23.3	24.3	24.1	23.4	23.9	20.9	22.4	23.3	23.1 / 日
	居宅(含予防)	ケアプラン数		44	40	44	42	48	54	60	61	67	66	68	68	55.2 / 662
	訪問(含予防)	延ケース数	300	261	274	243	233	262	250	235	259	242	273	311	341	39.2 / 3184
	独自ショート	利用者数		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	休止中
		延利用者数		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	休止中
	職員数	常勤職員		8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7
非常勤職員			9(4.2)	7(4.3)	9(4.9)	9(4.7)	9(3.3)	9(4.0)	9(4.5)	9(4.6)	9(4.0)	10(4.8)	10(5.1)	10(5.5)		
派遣職員			3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1		
登録ヘルパー			6	6	6	6	6	7	7	7	7	6	7	7		
村山荘	利用者	月初人員数	100	104	102	102	104	103	103	103	101	104	104	105	103	103.2 / 日
		一時入所延利用(日)	5	14	6	9	21	0	0	22	42	21	0	5	4	144
		月間延利用者数		3120	3172	3172	3224	3224	3086	3086	3054	3203	3239	2894	3234	37,708
	職員数16%	常勤職員		41	41	41	42	42	42	41	41	41	41	40	40	
		非常勤職員		14(8.8)	14(9.0)	14(9.0)	14(8.3)	14(8.2)	15(8.7)	15(9.0)	14(7.7)	15(8.7)	15(9.5)	17(9.8)	17(10.6)	
		派遣職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
さつき荘	利用者	月初人員数	50	53	53	54	54	54	52	53	53	52	52	51	54	52.9 / 日
		一時入所延利用(日)	5	26	1	0	0	33	13	13	4	6	7	4	18	125
		月間延利用者数		1590	1674	1620	1674	1650	1580	1648	1590	1612	1591	1494	1674	19,397
	職員数16%	常勤職員		28	27	28	28	28	29	29	29	29	29	29	29	
		非常勤職員		10(5.6)	10(5.8)	10(6.1)	10(6.2)	10(6.2)	10(6.2)	12(7.0)	12(7.2)	12(7.2)	11(6.9)	11(6.9)	11(6.9)	
		派遣職員		1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
むらやまえん生活相談所	相談件数		1	2	2	2	4	2	3	2	2	2	1	2	25	

拠点	内容	定員数/ 目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/ 延べ	
つばみ保育園	児童	月初児童数	195人/ 202人	192	197	197	196	194	195	195	195	195	195	195	195	195.1 /日
		月延児童数		4608	4728	5122	4900	5044	4680	4875	4680	4485	4485	4485	5070	57,162
		延長保育(短・標準) 利用実(延)人員		50(380)	38(401)	55(446)	54(400)	44(301)	57(391)	54(410)	51(430)	55(365)	49(279)	44(365)	46(384)	597(4,552)
		一時保育 延利用数実(延)		23(71)	21(88)	24(121)	24(104)	23(102)	25(99)	28(125)	28(137)	30(130)	28(117)	34(142)	31(142)	319(1,378)
	職員数 12%	常勤職員		35	35	35	35	35	36	36	36	35	35	35	34	
		非常勤職員		23(13.7)	25(13.5)	25(14.9)	28(14.0)	27(13.2)	27(13.9)	27(14.2)	27(13.5)	26(13.3)	27(12.3)	28(14.4)	27(14.1)	
		派遣職員		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
ふじみ保育園	児童	月初児童数	100人/ 100人	96	96	98	97	98	98	99	99	100	100	100	100	98.4 /日
		月延児童数		2112	1016	2254	2134	2254	2156	2277	2178	2100	2100	2100	2400	25,081
		延長保育(短・標準) 利用実(延)人員		28(234)	28(167)	28(213)	34(216)	28(173)	30(192)	28(216)	28(209)	30(186)	34(228)	31(209)	34(234)	361(2,477)
		一時保育 延利用数実(延)		22	22	22	22	22	22	22	21	54	21	21	21	
	職員数 12%	非常勤職員		15(8.1)	15(8.3)	15(8.2)	15(7.6)	15(7.6)	15(8.1)	15(8.2)	15(8.1)	15(8.1)	15(7.6)	15(7.9)	15(6.8)	
		派遣職員		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		ほんちよう保育園	児童	月初児童数	100人/ 114人	114	113	113	113	113	113	113	113	112	112	112
月延児童数				2850	2712	2938	2825	2938	2712	2825	2825	2800	2576	2576	2912	33,489
延長保育(短・標準) 利用実(延)人員				45(312)	33(314)	38(332)	41(332)	33(244)	35(302)	36(282)	37(305)	36(291)	40(269)	32(260)	40(311)	446(3,554)
一時保育 延利用数実(延)				29(103)	28(101)	34(129)	33(106)	27(118)	31(124)	35(131)	38(136)	35(119)	39(114)	44(132)	46(145)	419(1,458)
子育てひろば 利用数				80	105	151	87	110	95	73	84	71	68	65	104	1,093
職員数 12%	常勤職員			23	24	24	24	24	23	23	22	22	22	22	23	
	非常勤職員			20(15.4)	20(15.5)	20(17.2)	19(15.2)	19(14.0)	17(13.9)	18(14.8)	19(15.8)	19(15.2)	19(15.9)	19(16.0)	21(15.0)	
派遣職員		4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5			
ひよし保育園	児童	月初児童数	75人/ 69人	56	57	58	58	60	59	58	58	60	60	60	60	58.7 /日
		月延児童数		1344	1368	1508	1450	1560	1416	1450	1392	1380	1380	1380	1560	17,188
		延長保育 (月極・スポット) 利用実(延)人員		21(191)	22(193)	23(217)	24(229)	22(204)	26(243)	26(205)	23(186)	23(201)	27(195)	29(204)	24(229)	290(2,497)
		常勤職員		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
	職員数 12%	非常勤職員		9(3.3)	9(3.3)	9(3.3)	9(3.3)	9(3.3)	7(2.5)	7(2.5)	7(2.5)	7(2.5)	7(2.5)	7(2.5)		
		派遣職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	福祉事業センター	就労継続	月初人員数	65	68	71	71	70	69	69	68	67	67	67	67	67
利用率(定員比)			82.5%	88.7%	86.2%	88.8%	88.1%	88.2%	88.1%	85.0%	83.9%	82.2%	79.2%	79.3%	78.0%	84.6%
月延人数				1211	1177	1270	1203	1089	1202	1215	1145	1122	1030	1031	1115	13,810
就労移行		月初人員数	15	9	11	11	11	15	12	12	13	12	11	12	12	11.8 /日
		利用率(定員比)	80.0%	84.4%	68.6%	65.5%	62.9%	83.5%	72.4%	76.4%	77.8%	72.1%	70.7%	70.3%	73.3%	73.2%
		月延人数		266	216	216	198	238	228	252	245	227	212	211	242	2,751
職員数		常勤職員		12	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	
	非常勤職員		9(7.3)	9(7.3)	11(9.1)	10(8.2)	10(7.8)	10(7.8)	10(7.8)	10(7.4)	10(7.4)	10(6.9)	10(7.8)	10(7.8)		

Ⅲ 理事会及び評議員会

1. 理事会開催状況

No.	開催日	審 議 議 題	出欠状況
1	29.5.30 (火)	1.平成 28 年度事業報告及び計算書類等の承認の件 2.監事監査報告の件 3.社会福祉充実計画の件 4.定款変更の件 5.定款細則の件 6.新役員候補者の件 7.会計監査人候補及び報酬の件 8.給与規程改正の件 9.施設整備（ハトホーム南館・ひよし保育園）の件 10.定時評議員会の開催の件 報告事項①ほんちょうケアセンター訪問介護事業の今後について（提案）	理事 5名 監事 2名 企画課長 1名 施設長 1名
2	29.6.16 (金)	報告事項①定時評議員会決議事項 1.理事長の選定の件 2.常務理事の選定の件 3.ほんちょうケアセンター訪問介護事業自費サービスの件 4.ハトホーム南館・ひよし保育園の施設整備の件 5.その他 定款細則の件	理事 7名 監事 2名 企画課長 1名
3	29.7.20 (木)	1.ひよし保育園の施設設備整備の件 （概要・スケジュール・国分寺市との協議） 2.ハトホーム南館の施設設備整備の件（建替えの方針等）	理事 7名 監事 2名 企画課長 1名 施設長 1名
4	29.8.25 (金)	1.平成 29 年度第 1 回補正予算の件 2.規程関係の改正 （経理規程 育児休業及び育児短時間勤務等に関する規程） 3.ひよし保育園の施設設備整備の件 （資金計画・国分寺市との協議、合意書） 4.ハトホーム南館の施設設備整備の件 （資金計画・経緯報告・コンサル設計士の選定） 5.その他 非常勤職員賃金単価の件	理事 7名 監事 2名 企画課長 1名
5	29.9.25 (金)	1.東京都実地検査（ほんちょう保育園）改善報告の件 （早番時の保育士配置）	理事 6名 監事 1名 企画課長 1名
6	29.10.27 (金)	1.職員処分の件	理事 7名 監事 1名 企画課長 1名

7	29.11.10 (金)	1.職員処分の件	理事 7名 企画課長 1名
8	29.11.17 (金)	1.有期契約職員賃金（基本給）の件 2.ハトホーム施設設備整備の件 （変更整備計画・スケジュール・プロポーザル実施） 報告事項①ひよし保育園の施設設備整備進捗状況 ②東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業の実施 （ほんちょうケアセンター） ③職務執行状況報告（理事長・常務理事）	理事 6名 監事 2名 企画課長 1名 施設長 1名
9	30.2.23 (金)	1.平成 29 年度第 2 回補正予算の件 2.役員候補の件 3.ひよし保育園移転改築の件 （工事等業者選定、財産処分、運営規程改正） 4.施設長等基本給昇格の件 5.副施設長人事の件 6.評議員会（3/27）招集の件 7.パートタイマー等有期契約職員就業規則改正の件 （無期契約職員関係） 報告事項①ハトホーム南館建替工事等設計監理業務委託指名 型プロポーザルの結果と今後のスケジュール	理事 7名 監事 1名 企画課長 1名
10	30.3.27 (火)	1.平成 30 年度事業計画の件 2.平成 30 年度当初予算の件 3.就業規則・給与規程の改正の件 4.非常勤職員賃金の改正の件 （保育園処遇改善加算分・LSA の単価） 5.再雇用職員就業規則の制定の件 6.運営規程（ハトホーム在宅サービスセンター・ほんちょうケ アセンター）の改正の件 7.管理規程（村山荘・さつき荘）の改正の件 8.ひよし保育園工事費支払のつなぎ資金借入の件 9.平成 30 年度短期借入限度額の設定の件 報告事項①ひよし保育園の施設設備整備について ②ハトホーム南館施設設備整備事業及び清瀬代替施 設利用について ③職務執行状況報告（理事長・常務理事）	理事 7名 監事 2名 企画課長 1名

2. 理事及び監事一覧（任期：平成 31 年定時評議員会終結の時まで）

理 事 長	品川 卓正	常 務 理 事	手塚 真一	理 事	伊藤 京
理 事	柿沼 一彦	理 事	石橋 茂	理 事	石井 司
理 事	相原 弘子				
監 事	長田 皓子	監 事	岡部 雅人		

10	11	東村山市富士見町二丁目7番10のうち 土地 5424.70 m ² (村山荘・福祉事業センター)	無償 28.10/1～31.9/30
10	11	東村山市富士見町二丁目7番11 土地 2672.95 m ² (さつき荘)	無償 28.10/1～31.9/30
10	11	東村山市富士見町二丁目7番10のうち外 土地 543.35 m ² (駐車場)	有償 1,095,822 円/年 28.10/1～31.9/30

- ・ 利用者現況報告書の提出 平成 29 年 4 月 7 日
- ・ 用途指定財産現況報告書 平成 30 年 3 月 27 日

3. 委員会等開催状況

- ① 業者選定委員会 於、法人本部会議室
平成 29 年 11 月 9 日 ①「ハトホーム南館建替え工事等の設計監理業務委託」
プロポーザルの参加業者選定に関する件
- ② 業者選定小委員会 於、法人本部会議室
平成 29 年 5 月 24 日 ①ハトホーム機械浴槽の入替について
②村山荘・福祉事業センター・ハトホーム建物間の路面補修
工事について
③登録業者閉店報告
平成 29 年 11 月 1 日 ①村山荘・福祉事業センターベランダ手摺塗装工事について
②ほんちょう保育園コピー機入替について
③ハトホーム加湿器レンタル契約の報告について
平成 30 年 1 月 22 日 ①つぼみ保育園給食コンベンションオープン・まな板殺菌保
管庫入替について
②平成 30 年度物品供給契約業者について
- ③ 施設長会及び施設長連絡会 於、法人本部会議室
4 月 6 日・20 日 5 月 8 日・22 日 6 月 8 日・22 日
7 月 4 日・20 日 9 月 7 日・21 日 10 月 5 日・17 日
11 月 2 日・22 日 12 月 14 日・28 日 1 月 11 日・25 日
2 月 8 日・23 日 3 月 1 日・15 日 計 22 回
- ④ 中間的就労推進委員会
登録施設見学会（敷地内施設見学と切り出し業務の確認、各自治体の登録者状況と
村山苑の受け入れ態勢についての情報交換） 6 月 2 日

- ⑤ 人材確保委員会 於、法人本部会議室
- | | | |
|-------|--------|----------|
| 4月20日 | 5月18日 | 6月1日・12日 |
| 7月10日 | 10月10日 | 11月20日 |

4. 指導検査・法人内部検査

1 東京都による実地検査

- ・ひよし保育園 平成29年6月14日（東京都補助金交付確定に係る現地調査）
平成29年6月20日
- ・ほんちょう保育園 平成29年6月27日
- ・さつき荘 平成29年10月24日
- ・村山荘 平成29年11月7日

2 財政援助団体等監査 平成29年10月25日

3 法人内部監査 内部検査項目一覧及び経理規程に基づき内部検査を実施

- ・ひよし保育園 平成29年6月7日
- ・つぼみ保育園 平成29年6月13日
- ・村山荘 平成29年6月14日
- ・さつき荘 平成29年6月15日
- ・ほんちょう保育園 平成29年6月21日
- ・ほんちょうケアセンター 平成29年6月21日・10月26日
- ・福祉事業センター 平成29年9月28日
- ・ハトホーム（含む在宅） 平成29年10月16日・12月26日
- ・ふじみ保育園 平成29年11月8日

- | | | |
|--------|-------------------|------------|
| 4 監事監査 | 平成28年度事業監査（長田監事） | 平成29年5月23日 |
| | 平成28年度会計監査（岡部監事） | 平成29年5月23日 |
| | 平成29年度預り金監査（岡部監事） | 平成30年1月30日 |

5. 平成29年度中の人事状況

- | | | |
|--------|-----|-------------------------|
| 新規採用者数 | 13名 | 村山荘（介護職員2名） |
| | | さつき荘（看護師1名 調理員1名） |
| | | ハトホーム（機能訓練指導員1名 介護職員2名） |
| | | 福祉事業センター（職業指導員1名） |
| | | つぼみ保育園（保育士2名 調理員1名） |

ほんちょう保育園（保育士 1 名）
 ほんちょうケアセンター（介護職員 1 名）

退職者数 18 名
 (うち 3 名定年)

村山荘（介護職員 3 名）
 さつき荘（相談員 1 名）
 ハトホーム（介護職員 1 名）
 福祉事業センター（職業指導員 1 名）
 つぼみ保育園（保育士 2 名 栄養士 1 名 調理員 2 名）
 ふじみ保育園（保育士 2 名 調理員 1 名）
 ほんちょう保育園（保育士 3 名）
 ひよし保育園（保育士 1 名）

平成 29 年 4 月 1 日現在の法人全体の職員数

常勤職員数 260 名

非常勤職員数 174 名（常勤換算数 94.74 名） 計 434 名

常勤職員 平均基本給額 295,869 円 平均年齢 43.6 歳 平均法人勤続 12.7 年
 平均施設勤続 6.4 年

施設名	平均基本給額	平均年齢	法人勤続 施設勤続	施設名	平均基本給額	平均年齢	法人勤続 施設勤続
ハトホーム	295,794	44.0	12.2 9.2	つぼみ保育園	286,485	41.9	13.2 8.2
ほんちょうケアセンター	271,378	44.0	9.6 2.0	ふじみ保育園	292,374	42.4	12.1 5.5
村山荘	306,555	44.1	12.6 10.1	ほんちょう保育園	283,675	42.5	11.3 3.5
さつき荘	328,219	47.6	16.7 7.8	ひよし保育園	257,131	38.3	8.8 0.9
福祉事業センター	308,575	45.5	16.1 10.8				

参考；職員離職率

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
新任離職率	2/12	0/9	2/12	3/10	3/11	5/18	11/21	3/13	10/44	3/15	2/17	4/23	2/24	3/29	1/12
	16.7%	0.0%	16.7%	30.0%	27.3%	27.8%	52.4%	23.1%	22.7%	20.0%	11.8%	17.4%	8.3%	10.3%	8.3%
(うち、ハト)	0/2	0/5	1/6	1/5	3/7	2/9	8/13	1/3	3/10	2/3	2/5	3/10	1/6	0/3	0/3
	0.0%	0.0%	16.7%	20.0%	42.9%	22.2%	61.5%	33.3%	30.0%	66.7%	40.0%	30.0%	16.7%	0.0%	0.0%
全体離職率								14/215	18/243	13/243	16/247	19/252	22/252	16/268	18/260
								6.5%	7.4%	5.3%	6.5%	7.5%	8.7%	6.0%	6.9%

V 法人・施設共通事項

1. リスクマネジメントの取組みと苦情対応

- a. 各施設のリスクマネージャーによるリスク担当者会議を実施。情報交換と全体での取り組み事項を検討の他、事例検討も実施した。

- 平成 29 年 7 月 31 日 ①危険予知訓練
 ②事故報告、ヒヤリハットの事例検討
 ③各施設のリスクマネジメント委員会開催状況報告

- 平成 29 年 11 月 27 日 ①各施設の状況報告
 ②事故報告、ヒヤリハットの事例検討

b. 苦情受付状況を年度の前期と後期に分けてホームページで公開し、第三者委員に報告。

第三者委員の施設訪問実績は、以下のとおりである。

- 平成 29 年 5 月 18 日 ほんちょうケアセンター・村山荘・福祉事業センター
 25 日 ハトホーム・ハトホーム在宅サービスセンター・さつき荘
- 平成 29 年 6 月 15 日 つぼみ保育園 22 日 ひよし保育園
 28 日 ふじみ保育園 29 日 ほんちょう保育園
- 平成 29 年 12 月 8 日 ほんちょう保育園・ほんちょうケアセンター
 12 日 ひよし保育園・ふじみ保育園・つぼみ保育園
 18 日 村山荘・さつき荘
 25 日 福祉事業センター・ハトホーム・ハトホーム在宅サービスセンター

2. 福祉サービス第三者評価受審状況

施設名	評価者	施設名	評価者
ハトホーム・在宅	(株)ケアシステムズ	つぼみ保育園	関東シニアアドバイザー協会
ほんちょうケアセンター	(株)ケアシステムズ	ふじみ保育園	関東シニアアドバイザー協会
村山荘	福祉経営ネットワーク	ほんちょう保育園	関東シニアアドバイザー協会
さつき荘	福祉経営ネットワーク	ひよし保育園	関東シニアアドバイザー協会
福祉事業センター	福祉経営ネットワーク		

3. 職員研修

- 1 新人研修 平成 29 年 3 月 29 日 (水)、30 日 (木) 計 12 名
 村山苑職員としての心がまえ 村山苑の沿革
 法人施設の見学 就業規則等の説明
 社会人としてのマナー 等
- 2 施設長研修 平成 29 年 7 月 4 日 (火)、8 月 8 日 (火) 計 15 名
 合同労組基礎知識研修、労務管理基礎研修
- 3 看護師研修 平成 29 年 10 月 18 日 (水) 計 7 名
 各施設の課題検討

- | | | |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 4 | テーマ別研修 平成 29 年 11 月 7 日 (火)
「社会福祉法人村山苑の公益事業について」
講義、報告、グループワーク | 計 4 8 名 |
| 5 | 新人フォローアップ研修 平成 29 年 11 月 21 日 (火)
上司が新人に言いたいこと、新人が上司に言いたいこと
4つの姿勢と2つの力、3つの学び 情報交換 | 計 1 1 名 |
| 6 | 福祉サービス研究研修 平成 30 年 1 月 23 日 (火)
障害・高齢・保育より事例発表、グループワーク、表彰式 | 計 5 5 名 |

☆ 他法人との交換研修の実施

4. 地域への取組み

村山苑は、基本理念にある「共に生きてゆこうとする志」を持って、地域と共に歩んで行くことを法人運営の根底に据え、地域社会を支えて行く存在として取り組んでいる。各施設での交流行事やイベント開催、ボランティアや実習生受け入れ、生活相談所での地域貢献事業の他にも、新たに中間的就労事業による地域公益事業の取り組みなど、法人として様々な取り組みを行った。

- ・消防相互応援協定による合同訓練の実施 平成 29 年 10 月 31 日 (ハトホームにて)
- ・東村山市社会福祉法人連絡会の活動
 - 全体会 (年 4 回) 及び理事長・施設長対象研修会 (平成 29 年 12 月) の参加
 - 職員研修会 (平成 30 年 2 月) の参加 (法人から 5 名出席)
 - 市内社会福祉法人連絡会「暮らしの相談ステーション」相談員情報交換会の参加
(「暮らしの相談ステーション」設置施設: さつき荘・ほんちょう保育園・ほんちょうケアセンター・ハトホーム)
 - 市内社会福祉法人連絡会パネル展
- ・ひきこもり支援講演会の開催 平成 29 年 11 月 11 日 (土)
 - 会場: 村山荘訓練棟
 - 講師: NPO 法人 青少年自立援助センター 常務理事 河野久忠氏
 - 参加者: 地域住民、職員等 計 37 名
- ・認知症サポーター養成講座の開催 平成 29 年 11 月 25 日 (土)
 - 会場: 村山荘訓練棟 講師: 東村山市西部包括支援センター
 - 参加者: 地域住民、学生、職員等 計 36 名
- ・富士見町福祉施設連絡会の活動

富士見町福祉施設資源集の公開

「ふ・ふ・ふ（ふじみ・ふくし・ふれあい）」カレンダーの発行

地域懇談会の開催（平成 29 年 10 月 21 日、30 年 3 月 17 日 万寿園にて）

- ・地域福祉活動計画推進委員の活動 第 4 次計画推進委員会及び第 5 次計画策定委員会参加

- ・ギャラリースペースの開放

ハトホーム 1 階廊下に地域の方の作品掲示

- ・障害者の就労支援機関と連携した職場実習受け入れ

特別支援学校及び福祉事業センターからの希望者に施設見学や職場体験実習の受け入れを実施した。4 名、延べ 16 日の実習を受け入れて、1 名が法人内施設での平成 30 年度新規採用となり、雇用に繋がった。

- ・学校訪問 明法高等学校、都立東村山西高等学校、日体桜華高等学校、南台小学校

富士見小学校

- ・生活相談所 平成 29 年度も年間通じて 25 件の相談あり。うち給付による支援は 9 件。

- ・中間的就労 東村山市、東大和市、武蔵村山市在住の 7 名に対して、法人内施設及び本部での就労を利用（室内清掃、屋外環境整備、事務補助、整袋作業など）

5. 情報公開

情報公開については、ホームページ及び村山苑だより（広報誌）を中心に行うと共に福祉新聞への掲載（決算報告）も実施した。ホームページでは、年末に全体構成をリニューアルした。事業計画及び実績報告、予算及び決算報告、苦情受付報告、福祉サービス第三者評価結果報告等、法人並びに各施設の情報公開を行うとともに、特に職員の採用情報については、現在働いている職員の姿を公開することで法人を知ってもらえる工夫を追加した。また、昨年に引き続き、東村山市にホームページにバナー広告としてアップし広く村山苑の PR に努めた。広報誌については計画通り年 3 回の発行を行い、ホームページ同様、法人の情報提供として活用した。各施設の近況や状況を広く知っていただくため、利用者・家族、福祉事務所、関係諸機関や学校などに幅広く配布することで、村山苑の情報公開及び PR の一環として取り組むことが出来た。今後は、一般により広く配布をし、活動を広報していきたい。

6. 主な施設設備整備

- ・つぼみ保育園 GHP・TES 機器更新工事
- ・ハトホーム 北館 3 階機械浴整備